



(第11期) 第2回まつもと子ども未来委員会の報告

5月18日(日)にあがたの森文化会館 2-8会議室で第2回まつもと子ども未来委員会を行いました。この日は委員31人、大学生サポーター5人が出席しました。

1 大学生サポーター

市内の大学、短期大学へ未来委員会のサポーターの選出^{せんしゅつ}をお願いしたところ、松本大学から2人、信州大学から学生6人の紹介があり、この日は5人のサポーターが出席してくれました。



今年度のサポーターは全員県外の出身です。松本市を考えると、松本市外の様子を知ることが大切です。サポーターさんとたくさんお話しをしましょう！

1年間お世話になります。よろしくお願いします。

2 8月の市内見学について

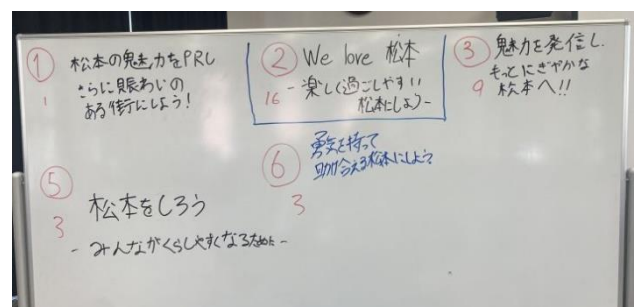
松本の施設マップから、「市内見学で行ってみたい施設をみんなに紹介しよう」ということで、発表してもらいました。「馬場家住宅」^{ばばけ}「旧開智学校」^{きゅうかいち}「考古博物館」^{こうこはくぶかん}「上高地」^{こうこうち}「美ヶ原」^{みけがはら}等が出てきました。

また、松本市の自然の宝を実際に感じたい、という話も出てきました。雄大な自然を見に行きたい。松本市について、学んで、知って、自然を大切にしていきたい。これから調整^{ちようせい}をしていきたいと思います。

3 第11期委員会のスローガンについて

今期の委員会のスローガンをみんなで話し合いました。第1回の委員会の最後に書いた紙「どんな松本市にしたいか」を見ながら、それぞれの年齢の子がいるグループで話をしました。

高校生がまとめ役になり、グループで1つスローガンを決めました。各グループで決めたスローガンをホワイトボードに書いてもらい、決めた思いをグループごと発表してもらいました。



第11期のスローガンは、

「We love 松本～楽しく過ごしやすい松本にしよう～」

になりました。

今までのスローガンとは少し^{ちが}違う、サブタイトルを入れたスローガンになりました。みんな松本市のことを考え、少しでも楽しくできる未来委員会にしていく気持ちが込められています。年齢に関係なく話し合える、自分たちの住んでいる松本市のいいところをみんな^こで学び、考えていこうという気持ちが込められています。

4 松本市について学ぼう

松本市について学ぼうということで、「ゼロカーボン」について、「^{じんこうていじょうか}人口定常化」について、資料を見ながら話を聞きました。

「ゼロカーボン」は^{しみんかいぎ}市民会^{しりょう}議^{しりょう}があります。「人口定常化」は高校^{ちいきおう}生^{ちいきおう}の方^{ちいきおう}から学^{ちいきおう}んでみたい^{ちいきおう}ということで資料^{しりょう}を用意^{しりょう}しました。聞いてみたいことや、気になることを考えてみましょう。松本市について、もっとみんな^こで学^こんでいきたいですね。

5 「^{ちいきおう}知域王^{ちいきおう}（松本バージョン）」で遊ぼう

10期の修了式後に楽しんだ「^{ちいきおう}知域王^{ちいきおう}」。委員のコミュニケーションを深めるため、年齢ごとに分かれて遊びました。ルール^{ちいきおう}の説明^{ちいきおう}を聞いた後、グループごと楽しみました。前回遊んだ人は、作戦を立てて高得点を狙うように、カードを置いていきました。

このゲームは25点以上取れるとすごいのですが、この日の最高得点は38点。ゲームを経験したことがある高校3年生。「大人げないけど、高得点を狙いました！」と笑顔で教えてくれました。

初めて遊んだ子も、「まだやりたい」「またやろうね」「楽しかった」と口々に言っていました。

委員同士の緊張感も遊びを通して、少しほぐれたのではないでしようか。



次回の委員会では、自分はこうしていきたいという思いを仲間に伝えながら、グループに分かれて、具体的な内容について話し合いを進めていきましょう。